

# だれでもできる 品質管理システム [コンクリート]

## 目 次

□ 第 1 章 はじめに		□ 第 5 章 保存	
基本操作マニュアルの流れ	3	保存	35
□ 第 2 章 帳票の追加・管理		□ 第 6 章 出力	
帳票ブックの追加	7	出力	37
帳票ブックの管理	9		
□ 第 3 章 データ入力		□ 第 7 章 補足集 こんなときは	
設計値・規格値の入力	13	写真情報データベースに	
実測値の入力	19	登録した写真を閲覧する場合	40
規格値の表示形式を変更	21	作成した帳票ブックをユーザーテンプレート	
		として保存する場合	42
□ 第 4 章 帳票の編集		『電子納品支援システム』にデータを	
グラフの編集	25	転送する場合	44
帳票レイアウトの編集	30		
		単位水量をエアメータ法（無注水法 / 注水法）	
		の帳票を利用して算出する場合	46

## 本書で使用しているマーク



### 注意

してはいけない事や注意していただきたい事です。  
よく読み注意を守ってください。  
場合によっては、作成したデータの消失などの可能性があります。



### こんなときは

困った時の操作や説明のヒントが書かれています。



### ポイント

大事な事や操作のヒントが書かれています。

## ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製する事は禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更する事があります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

## 第1章

# はじめに

本書「品質管理システム [コンクリート] 基本操作マニュアル」の流れについて説明します。

# 基本操作マニュアルの流れ

本書「品質管理システム〔コンクリート〕基本操作マニュアル」の流れを説明します。

## 第2章 帳票の追加・管理

帳票ブックの追加

提出先の帳票を取り込みます。

7 ページ

帳票ブックの管理

管理しやすい名前に変更します。

9 ページ

## 第3章 データ入力

設計値・規格値の入力

測定項目ごとに設計値・規格値を入力します。

13 ページ

実測値の入力

測点ごとに実測値を入力します。

19 ページ

規格値の表示形式を変更

規格値の表示形式を変更します。

21 ページ

## 第4章 帳票の編集

グラフの編集

グラフの種類・線色・線幅を編集します。

25 ページ

帳票レイアウトの編集

帳票のレイアウトを編集します。

30 ページ

## 第5章 保存

保存

作成したデータを保存します。

35 ページ

## 第6章 出力

出力

印刷する帳票を選択し、印刷します。

37 ページ

## 第7章 補足集 こんなときは

### 第3章 データ入力

### 第5章 保存

### 第6章 出力

写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合

40 ページ

単位水量を「エアメータ法（無注水法/注水法）」の  
帳票を利用して算出する場合

46 ページ

作成した帳票ブックを  
ユーザーテンプレートとして保存する場合

42 ページ

『電子納品支援システム』にデータを転送する場合

44 ページ

## 設定・画面サイズについて

### 設定

インストール直後の設定で説明しています。



既に使用している場合は、設定が異なる事があります。



### 画面サイズ

画面のサイズを変更して説明しています。

画面の表示領域や表示されている項目の幅・高さは変更する事が可能です。

項目の境目にマウスカーソルを移動すると、カーソルの形が変わります。

  ドラッグで変更してください。

  クリックで、表示領域の表示・非表示を切り替えてください。





## 第2章

# 帳票の追加・管理

『品質管理システム』を起動し、帳票を追加・管理します。

---

2-1	帳票ブックの追加 . . . . .	7
2-2	帳票ブックの管理 . . . . .	9

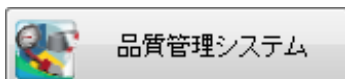
## 2-1 帳票ブックの追加

新規に工事を作成し、『品質管理システム』を起動します。

提出先の帳票を取り込みます。

### 1 『品質管理システム』を起動します

デキスパート基本部画面の【品質管理システム】ボタンをクリックします。



### 2 帳票ブックを取り込みます

1) 帳票ブックの追加画面が表示されます。

テンプレートの種類・提出先・帳票ブックを選択します。

The screenshot shows the '帳票ブックの追加' (Add Bill Book) window. Red boxes and lines highlight the following steps:

- ① 確認 [国の機関] (Check [National Organization]): Points to the 'テンプレートの種類' (Template Type) dropdown menu.
- ② 確認 [国土交通省] (Check [Ministry of Land, Infrastructure, and Transport]): Points to the '提出先' (Submission Destination) dropdown menu.
- ③ 確認 [平成 23 年度] (Check [Heisei 23 Fiscal Year]): Points to the '年度' (Fiscal Year) dropdown menu.
- ④ 選択 [コンクリート] (Select [Concrete]): Points to the 'コンクリート' (Concrete) option in the '生コンクリート(スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度)' (Ready-mix Concrete (Slump, Air Content, Unit Water Content, Compressive Strength)) list.
- ⑤ 選択(チェックは付けない) 「生コンクリート(スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度)」 (Select (do not check) 'Ready-mix Concrete (Slump, Air Content, Unit Water Content, Compressive Strength)'): Points to the '生コンクリート(スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度)' option in the list.

※ [アスファルト・土質] をインストールしている場合は、選択してください。



## 2) 帳票シートを選択します。

ここでは以下の帳票シートにチェックを付けます。「コンクリート品質管理一覧表」「エアメータ法（無注水法）」「エアメータ法（注水法）」は自動でチェックが付きます。自動でチェックが付いた「エアメータ法（無注水法）」「エアメータ法（注水法）」のチェックをはずします。

帳票シート	帳票バージョン
<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート品質管理一覧表	1.00.00
<input type="checkbox"/> エアメータ法(無注水法)	1.00.01
<input checked="" type="checkbox"/> エアメータ法(注水法)	1.00.01
<input checked="" type="checkbox"/> 測定結果一覧表【スランプ・空気量・...	1.00.00
<input checked="" type="checkbox"/> 品質管理図表【スランプ】	1.00.00
<input checked="" type="checkbox"/> 品質管理図表【空気量】	1.00.00
<input checked="" type="checkbox"/> 品質管理図表【単位水量】	1.00.00
<input checked="" type="checkbox"/> 品質管理図表【圧縮強度 標準1週】	1.00.00
<input checked="" type="checkbox"/> 品質管理図表【圧縮強度 標準4週】	1.00.00
<input type="checkbox"/> 品質管理図表【圧縮強度(3)】	1.00.00
<input type="checkbox"/> 品質管理図表【圧縮強度(4)】	1.00.00

**⑥ チェックを付ける**

「測定結果一覧表【スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度】」  
「品質管理図表【スランプ】」  
「品質管理図表【空気量】」  
「品質管理図表【単位水量】」  
「品質管理図表【圧縮強度 標準 1 週】」  
「品質管理図表【圧縮強度 標準 4 週】」

**チェックをはずす**

「エアメータ法（無注水法）」  
「エアメータ法（注水法）」



### こんなときは

⇒「単位水量を「エアメータ法（無注水法/注水法）」の帳票を利用して算出する場合」（46 ページ）

## 3) [OK] ボタンをクリックします。

OK

キャンセル

**⑦ クリック**

[OK] ボタン

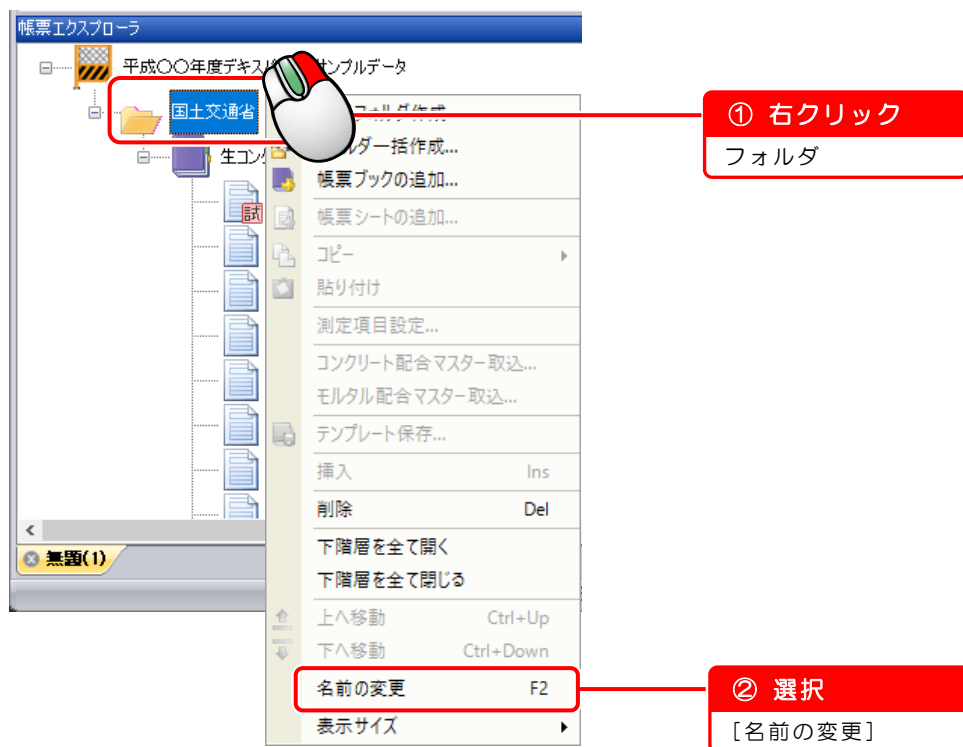
## 4) メイン画面に帳票ブックが取り込まれました。

## 2-2 帳票ブックの管理

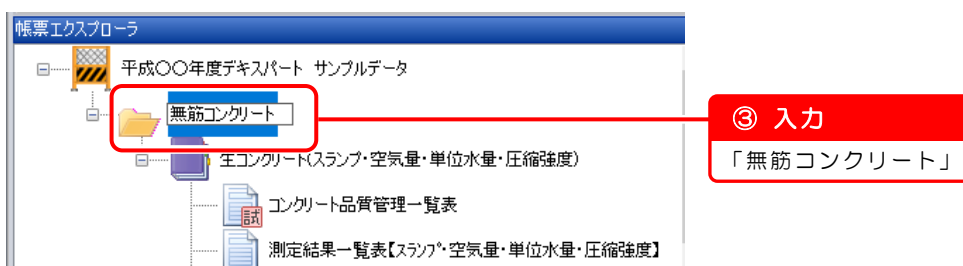
管理しやすい名前に変更します。

### 1 フォルダ名を変更します

1) フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「名前の変更」を選択します。

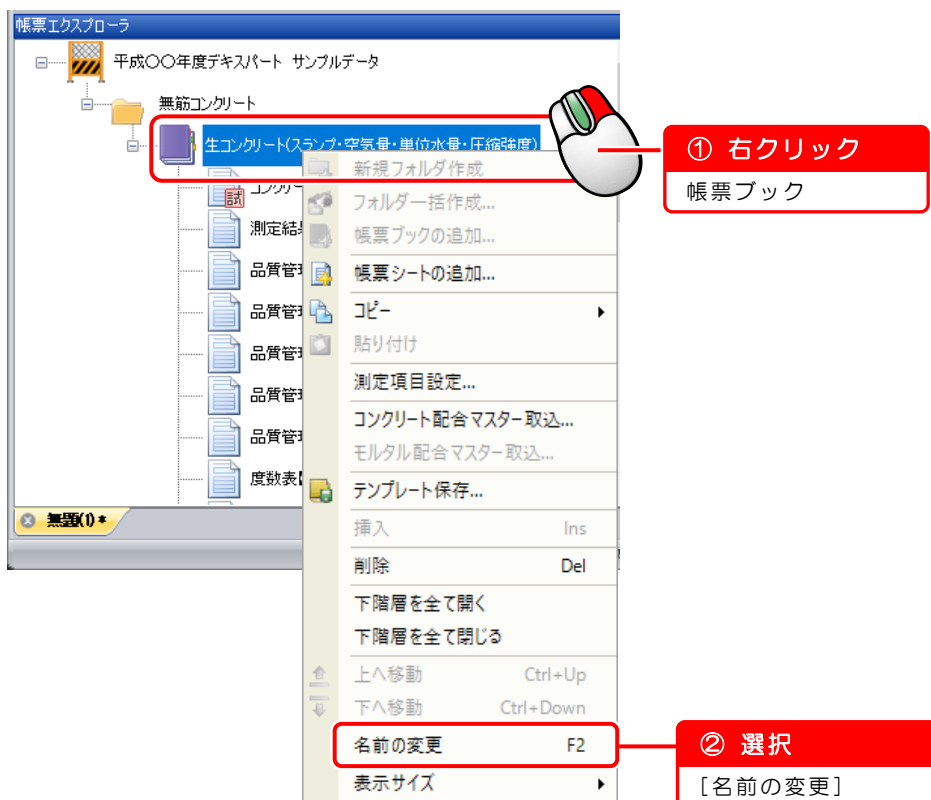


2) フォルダ名を入力します。

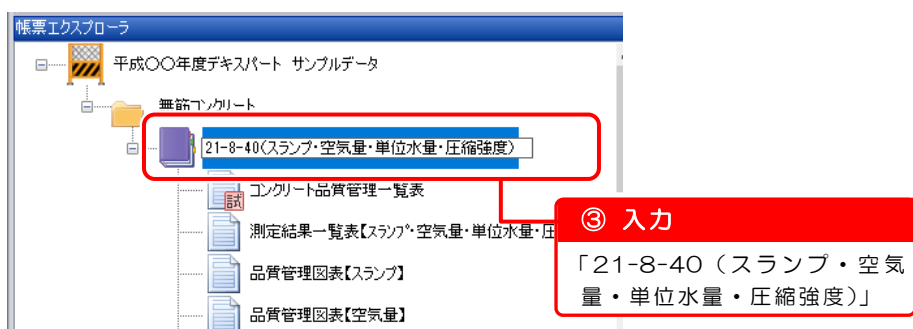


## 2 帳票ブック名を変更します

1) 帳票ブックを右クリックし、表示されるメニューから「名前の変更」を選択します。



2) 帳票ブック名を入力します。



以上で「第2章 帳票の追加・管理」は終了です。  
引き続き「第3章 データ入力」にお進みください。



## 第3章

# データ入力

設計値・規格値・実測値を入力します。

---

3-1	設計値・規格値の入力 . . . .	13
3-2	実測値の入力 . . . . .	19
3-3	規格値の表示形式を変更 . . .	21

## 第3章 データ入力

### 3-1 設計値・規格値の入力

測定項目ごとに設計値・規格値を入力します。

#### 1 「試験値入力シート」にデータを入力します

「試験値入力シート」について



「試」マークの付いたシートは、測点や実測値などの試験値をまとめて入力できるシートです。

「コンクリート品質管理一覧表」を表示します。

帳票エクスプローラ

平成〇〇年度デキスパート サンプルデータ

無筋コンクリート

21-8-40(スランブ・空気量・単位水量・圧縮強度)

コンクリート品質管理一覧表

測定結果一覧表【スランブ・空気量・単位水量・圧縮強度】

**選択**

「コンクリート品質管理一覧表」

#### 2 工種・測定者名を入力します

1) 表示された帳票を拡大します。

① 右下へ ツインドラッグ

選択範囲を拡大

※ツインドラッグとは、マウスを左右同時にクリックしたままドラッグする事です。

コンク

平成〇〇年度デキスパート サンプルデータ

工種	種別
測定項目	スランブ
単位	cm
設計値	空気量
	%

2) 工種欄を選択します。

コンク		
工事名	平成〇〇年度デキスパート サンプルデータ	
工種別	<input type="text"/>	
定項目	スランブ	空気量
位	cm	%
計値		

② 選択  
工種欄

3) 工種名を入力します。

コンク		
工事名	平成〇〇年度デキスパート サンプルデータ	
工種別	21-8-40 重力式擁壁工	
定項目	スランブ	空気量
位	cm	%
計値		

③ 入力  
「21-8-40  
重力式擁壁工」

4) 画面を右へスクロールし、測定者名を入力します。

測定者	
〇〇〇〇	姓

圧縮強度3	圧縮強度4
N/mm2	N/mm2

④ スクロール


⑤ 入力

### ⚠ 注意

これ以降の手順では、画面の拡大やスクロールは省略します。  
 拡大やスクロールには複数の方法があります。  
 その他の方法については「ヘルプ」をご覧ください。

### 3 スランプのデータを入力します

設計値・規格値を入力します。




**入力**  
 下表のデータ

測定項目		スランプ
設計値		8
規格値	上限値	2.5
	下限値	-2.5

工 種 別		21-8-40 重力式擁壁工	
測定項目	スランプ	空気量	
単位	cm	%	
設計値	8.0		
規格値	上限値	+2.5	
	下限値	-2.5	
	上限値		

### 4 空気量のデータを入力します

設計値・規格値を入力します。



**入力**  
 下表のデータ


測定項目		空気量
設計値		4.5
規格値	上限値	1.5
	下限値	-1.5

工 種 別		21-8-40 重力式擁壁工	
測定項目	スランプ	空気量	単位水量
単位	cm	%	kg/m3
設計値	8.0	4.5	
規格値	上限値	+1.5	
	下限値	-1.5	
	上限値		



## 5 単位水量のデータを入力します

設計値・規格値を入力します。

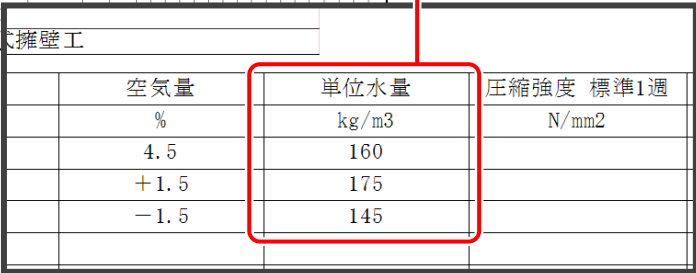


**入力**

下表のデータ

測定項目		単位水量
設計値		160
規格値	上限値	15
	下限値	-15





### ポイント

規格値の上限値、下限値を入力するとそれぞれ「175」、「145」と表示されるのは、規格値の表示形式が「設計値＋上限値」、「設計値＋下限値」に設定されているためです。

「試験値入力シートで計算した値」より、「コンクリート品質管理一覧表に直接入力した値」の方が優先して表示されます。

## 6 圧縮強度 標準 1 週のデータを入力します

測定項目名を変更し、設計値・規格値を入力します。

入力

下表のデータ

測定項目		圧縮強度 <small>シグマ</small> $\sigma 7$
設計値		21
規格値	上限値	/
	下限値	

単位水量	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 標準 1 週
kg/m <sup>3</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>
160	21.0	
175		
145	21.0	



### ポイント

規格値の下限値に「0」を入力すると「21」と表示されます。  
規格値の表示形式が「設計値＋下限値」に設定されているためです。

## 7 圧縮強度 標準 4 週のデータを入力します

1) 測定項目名を変更します。

① 入力

「圧縮強度 シグマ  
 $\sigma 28$ 」

測定者 ○○○○		
圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$	圧縮強度3
N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>
21.0		
21.0		

2) 設計値と規格値を入力します。

「圧縮強度  $\sigma 7$ 」と同じ数値なので、数値をドラッグで選択し、コピーして貼り付けます。

② ドラッグ  
左画面参照

③ 右クリック  
ドラッグした範囲内

④ 選択  
[コピー]

圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$
N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>
21.0	
21.0	

コマンド終了

- コピー Ctrl+C
- 貼り付け Ctrl+V
- 挿入
- 削除
- レイアウト適用
- 非表示列の再表示
- 非表示行の再表示

3) 貼り付ける位置で右クリックし、数値を貼り付けます。

⑤ 右クリック

⑥ 選択  
[貼り付け]

圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$
N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>
21.0	
21.0	

コマンド終了

- コピー Ctrl+C
- 貼り付け Ctrl+V
- 挿入
- 削除
- レイアウト適用
- 非表示列の再表示
- 非表示行の再表示

圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$
N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>
21.0	21.0
21.0	21.0

## 第3章 データ入力

### 3-2 実測値の入力

測点ごとに実測値を入力します。

#### 1 測点「NO.2+10」のデータを入力します

日付・実測値を入力します。

コンクリート品質管理一覧表

工 事 名		コンクリート		測定項目		測定結果	
測定項目	測定結果	測定項目	測定結果	測定項目	測定結果	測定項目	測定結果
測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$
測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$

入力  
下表のデータ

測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量	圧縮強度 $\sigma 7$				圧縮強度 $\sigma 28$							
	実測値	実測値		1	2	3	平均	1	2	3	平均				
1/8 NO.2+10	8.2	4.4	166					16.0	15.7	16.4	16.0	25.2	25.7	24.8	25.2

測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量		圧縮強度 $\sigma 7$			圧縮強度 $\sigma 28$		
	実測値	実測値	1	2	1	2	3	1	2	3
1/8 NO.2+10	8.2	4.4	166		16	15.7	16.4	25.2	25.7	24.8

#### 2 測点「NO.2+15」のデータを入力します

日付・実測値を入力します。

コンクリート品質管理一覧表

工 事 名		コンクリート		測定項目		測定結果	
測定項目	測定結果	測定項目	測定結果	測定項目	測定結果	測定項目	測定結果
測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$
測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$	圧縮強度 $\sigma 7$	圧縮強度 $\sigma 28$

入力  
下表のデータ

測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量	圧縮強度 $\sigma 7$				圧縮強度 $\sigma 28$							
	実測値	実測値		1	2	3	平均	1	2	3	平均				
1/13 NO.2+15	8.5	4.6	155					15.9	16.2	15.4	15.8	24.8	25.1	24.9	24.9

測定項目又は区別	スランブ	空気量	単位水量		圧縮強度 $\sigma 7$			圧縮強度 $\sigma 28$		
	実測値	実測値	1	2	1	2	3	1	2	3
1/13 NO.2+15	8.5	4.6	155		15.9	16.2	15.4	24.8	25.1	24.9

### 3 測点「NO.3」のデータを入力します

日付・実測値を入力します。

コンクリート品質管理一覧表

工 事 名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

測定項目	スランブ	空気量	単位水量	圧縮強度 標準1値	圧縮強度 標準2値	圧縮強度 標準3値	圧縮強度 標準4値
測定項目	mm	%	kg/m <sup>3</sup>	kg/cm <sup>2</sup>	kg/cm <sup>2</sup>	kg/cm <sup>2</sup>	kg/cm <sup>2</sup>
規格値							
実測値							
許容値							
許容率							

入力

下表のデータ

測定項目又は区別	スランブ 実測値	空気量 実測値	単位水量 1回目	2回目	圧縮強度 $\sigma_7$				圧縮強度 $\sigma_{28}$			
					1	2	3	平均	1	2	3	平均
1/8 NO.2+10	8.2	4.4	18		18.0	15.7	18.4	18.0	25.2	25.7	24.8	25.2
1/13 NO.2+15	8.5	4.6	15		15.9	16.2	15.4	15.8	24.8	25.1	24.9	24.9
1/15 NO.3	8.3	4.5	162		15.5	16.0	15.4	15.6	25.1	25.0	25.4	25.2

測定項目又は 区別	スランブ	空気量	単位水量		圧縮強度 $\sigma_7$			圧縮強度 $\sigma_{28}$		
	実測値	実測値	1	2	1	2	3	1	2	3
1/15 NO.3	8.3	4.5	162		15.5	16	15.4	25.1	25	25.4



#### こんなときは

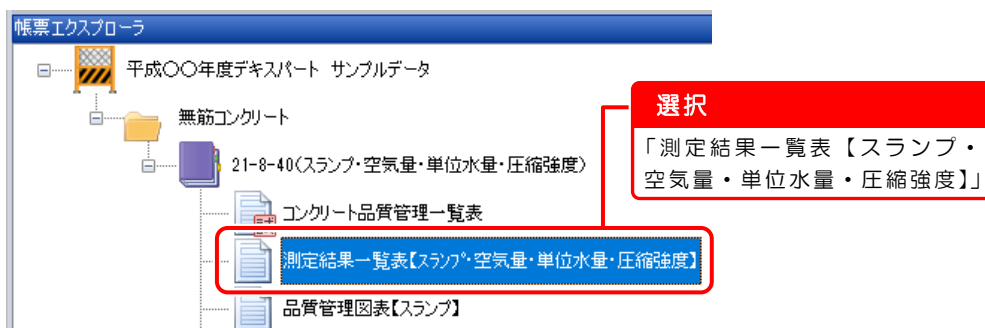
⇒「写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合」(40 ページ)

## 3-3 規格値の表示形式を変更

規格値の表示形式を変更します。

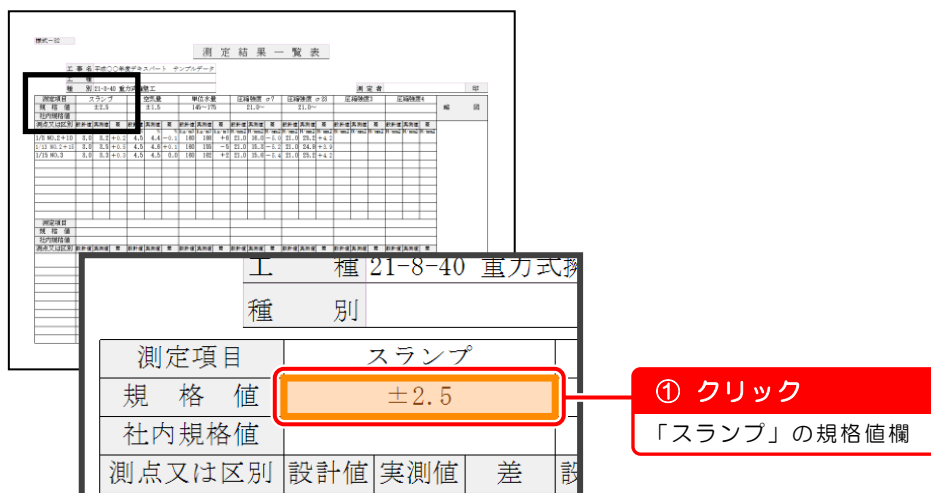
### 1 「測定結果一覧表」の表示を変更します

「測定結果一覧表【スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度】」を表示します。



### 2 スランプの規格値の表示を変更します

1) スランプの規格値の表示を「-2.5~+2.5」に変更します。



- 2) 画面右のプロパティボックスで、[表示]欄の左にある[+] ボタンをクリックし、詳細を設定します。

② クリック  
[+] ボタン

③ クリック  
[範囲の表示形式] 欄

- 3) リストから [O~O] を選択します。

④ クリック  
[▼] ボタン

⑤ 選択  
[O~O]

### 3 空気量の規格値の表示を変更します

スランプと同様の操作で、空気量の規格値の表示を「 $-1.5 \sim +1.5$ 」に変更します。

① クリック  
「空気量」の規格値欄

② 設定  
[○～○]

プロパティボックス

空気量

データの表示設定 表示する  
桁数 1

規格値  
上限値 15  
下限値 -15  
設計値 45

表示  
表示形式 値  
範囲の表示形式  $\pm \bigcirc$   
数値の表示形式  $\bigcirc \sim \bigcirc$   
上限任意文字  $\pm \bigcirc$   
下限任意文字  $\bigcirc$ 以上 $\bigcirc$ 以下

種 別

測定項目	スランプ	空気量
規格値	$-2.5 \sim +2.5$	$-1.5 \sim +1.5$
社内相対値		

設定後はこのように表示されます。

種 別		
測定項目	スランプ	空気量
規格値	$-2.5 \sim +2.5$	$-1.5 \sim +1.5$
社内相対値		

以上で「第3章 データ入力」は終了です。

引き続き「第4章 帳票の編集」にお進みください。



## 第4章

# 帳票の編集

グラフや帳票のレイアウトを編集します。

---

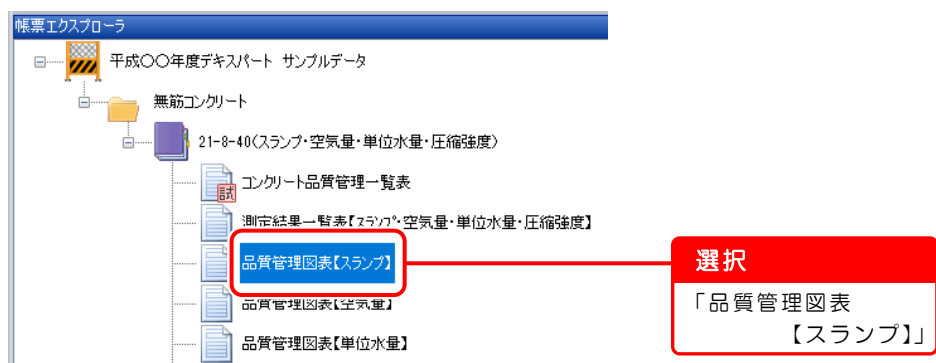
4-1	グラフの編集 . . . . .	25
4-2	帳票レイアウトの編集 . . . . .	30

## 4-1 グラフの編集

グラフの種類・線色・線幅を編集します。

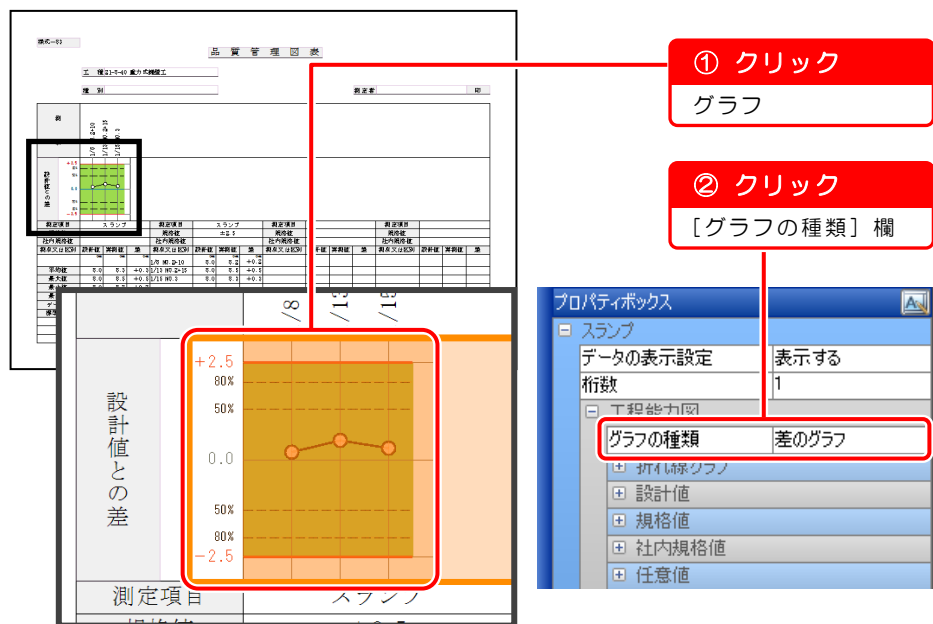
### 1 「管理図表」のグラフを編集します

「品質管理図表【スランプ】」を表示します。

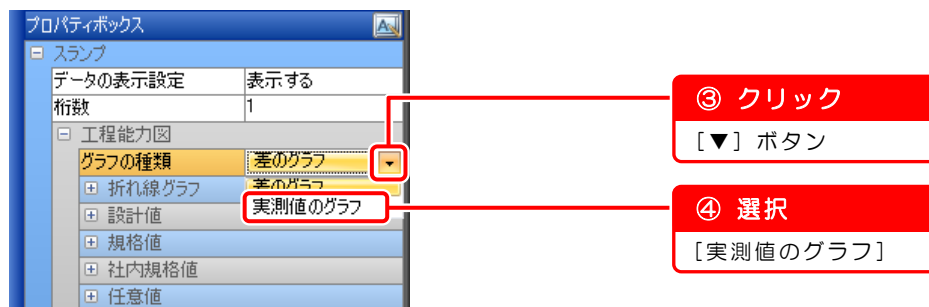


### 2 グラフの種類を変更します

1) プロパティボックスで、グラフの種類を「実測値のグラフ」に変更します。



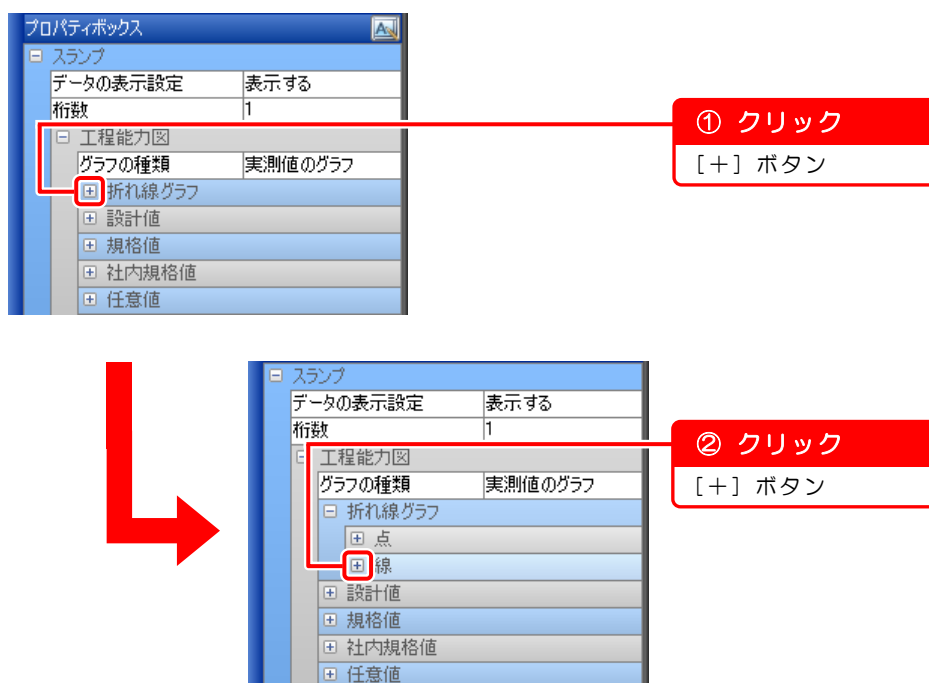
2) リストから「実測値のグラフ」を選択します。



### 3 グラフの線色・線幅を編集します

1) 折れ線グラフの線色を「赤色」に変更します。

[折れ線グラフ] 欄の左にある [ + ] ボタンをクリックし、[線] 欄の左にある [ + ] ボタンをクリックして詳細を設定します。



2) リストから「赤色」を選択します。

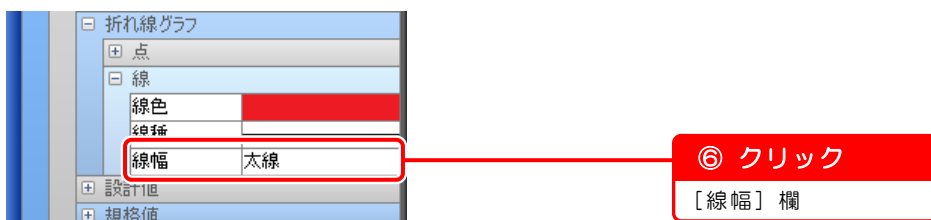


③ クリック  
[線色] 欄

④ クリック  
[▼] ボタン

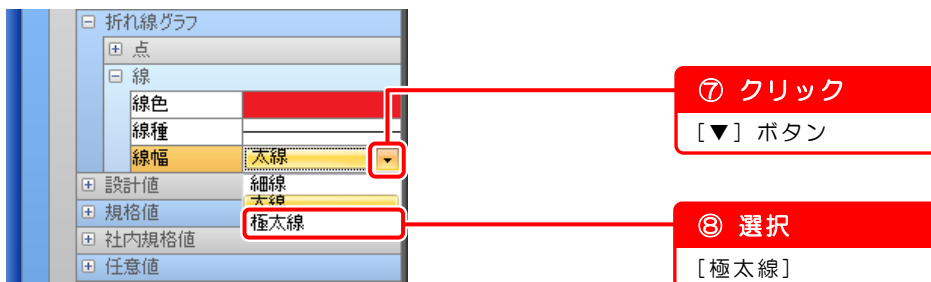
⑤ 選択  
[赤色]

3) 折れ線グラフの線幅を「極太線」に変更します。



⑥ クリック  
[線幅] 欄

4) リストから「極太線」を選択します。



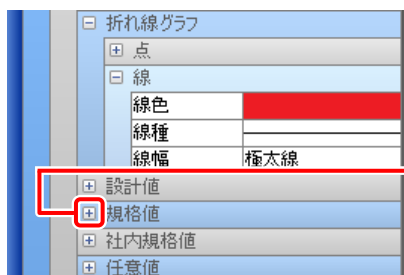
⑦ クリック  
[▼] ボタン

⑧ 選択  
[極太線]

## 4 規格値（80%・50%）の表示位置を編集します

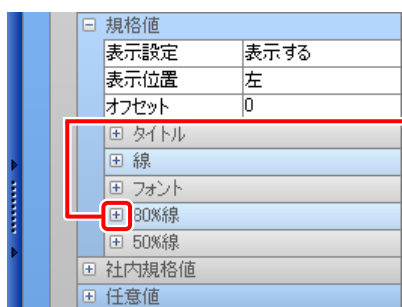
1) 80%規格値の表示位置を「右」に変更します。

[規格値] 欄の左にある [ + ] ボタンをクリックし、[80%線] 欄の左にある [ + ] ボタンをクリックして詳細を設定します。



① クリック

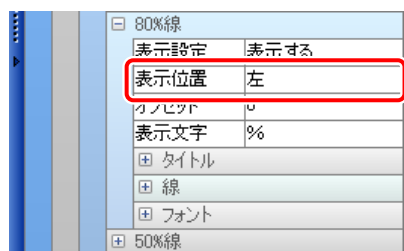
[ + ] ボタン



② クリック

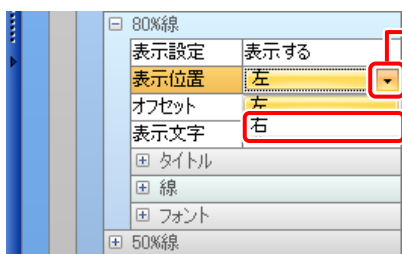
[ + ] ボタン

2) リストから「右」を選択します。



③ クリック

[表示位置] 欄



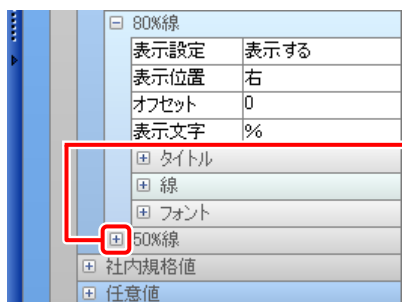
④ クリック

[ ▼ ] ボタン

⑤ 選択

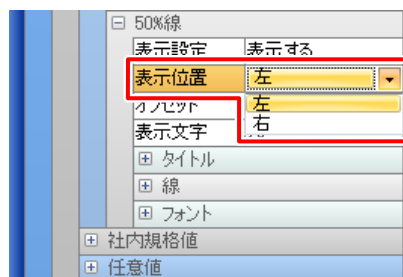
[ 右 ]

- 3) 80%規格値と同様の操作で、50%規格値の表示位置も「右」に変更します。  
 [50%線] 欄の左にある [ + ] ボタンをクリックし、詳細を設定します。



⑥ クリック

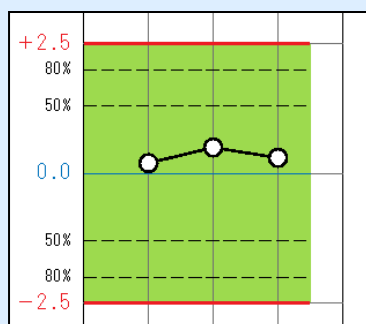
[ + ] ボタン



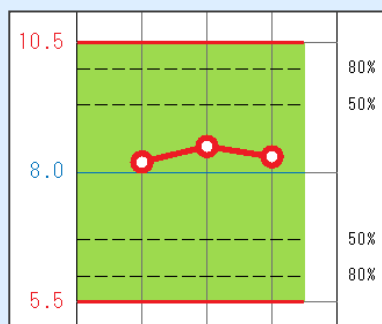
⑦ 設定

[ 右 ]

変更前



変更後



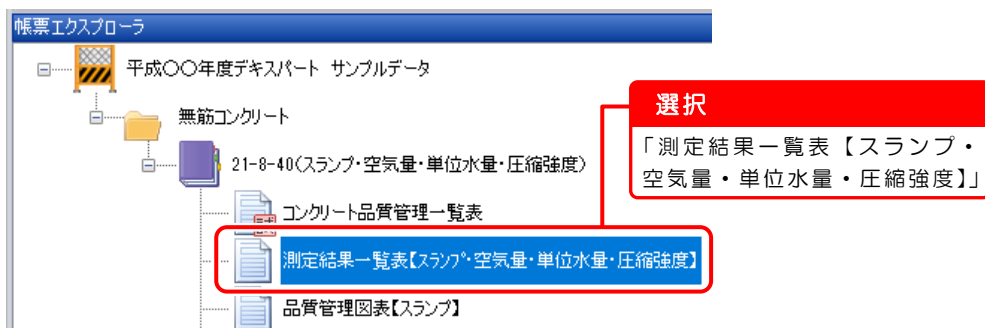
## 第4章 帳票の編集

### 4-2 帳票レイアウトの編集

帳票のレイアウトを編集します。

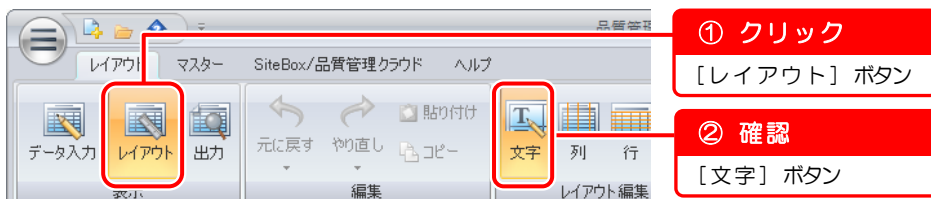
#### 1 「測定結果一覧表」のレイアウトを編集します

「測定結果一覧表【スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度】」を表示します。

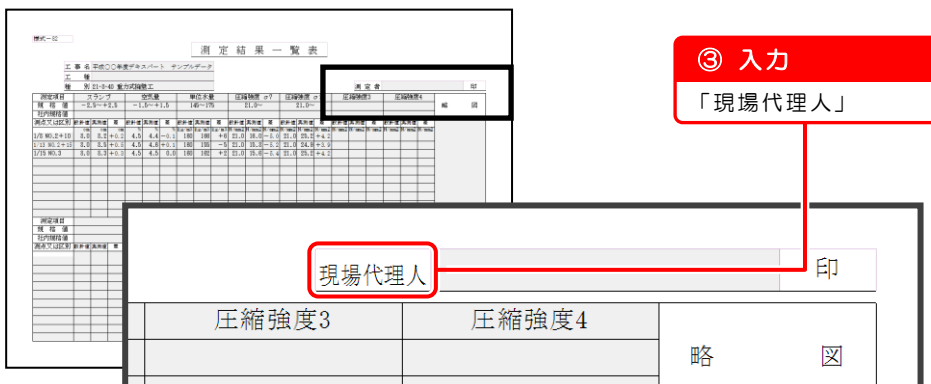


#### 2 「測定者」欄を編集します

1) [レイアウト] ボタンをクリックします。

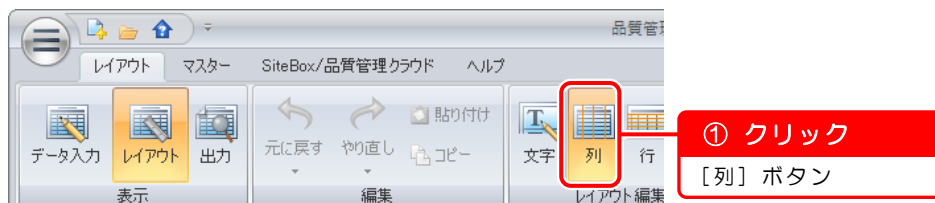


2) 「測定者」欄を「現場代理人」欄に変更します。

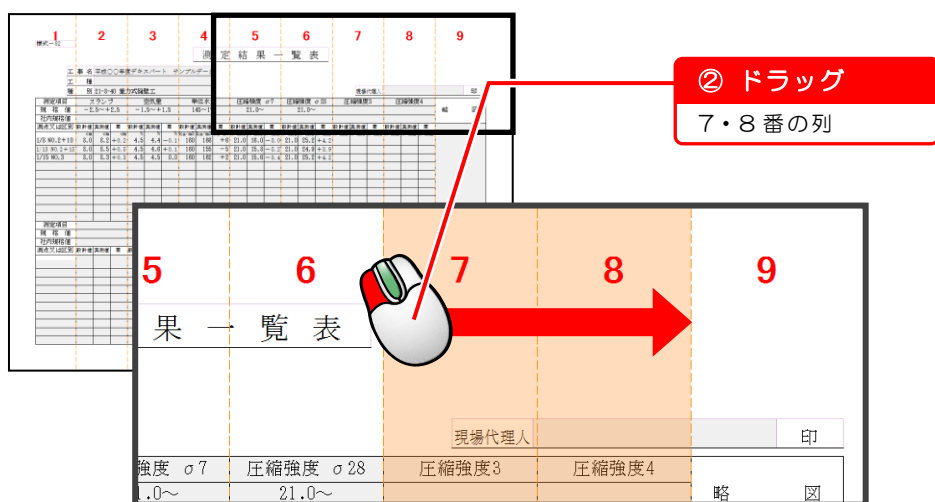


### 3 未使用の列を非表示にします

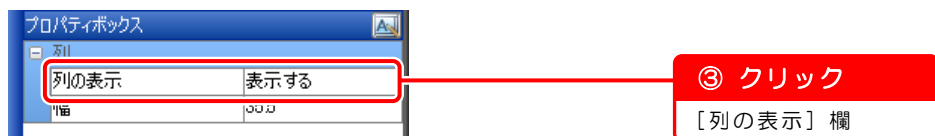
1) [列] ボタンをクリックします。



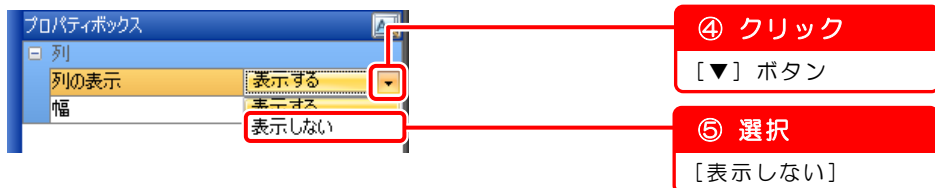
2) 帳票の上側に番号が表示されます。  
非表示にする 7・8 番の列を選択します。



3) プロパティボックスで、列の表示を「表示しない」に変更します。



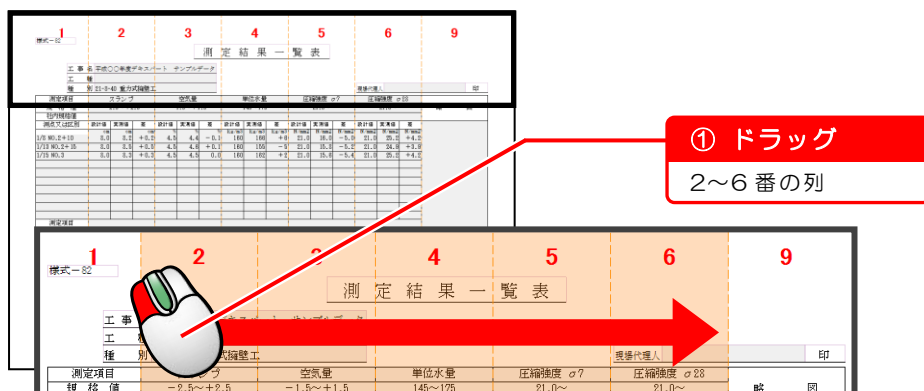
4) リストから [表示しない] を選択します。



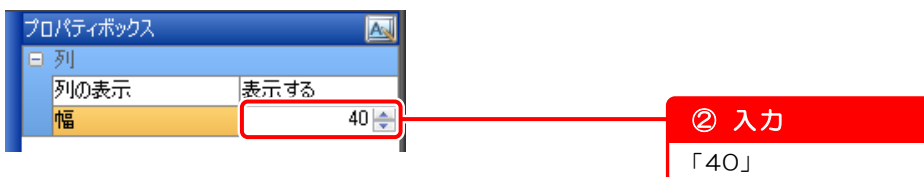


## 4 列幅を均等にします

1) 2～6 の列を選択します。



2) プロパティボックスで、幅の数値を 40mm に変更します。



変更前

測定結果一覧表																			
工 事 名 平成〇〇年度デキサポート サンプルデータ																			
工 種																			
種 別 21-40 電力式隔壁工																			
調査依頼人																			
印																			
測定項目	スランプ			空気量			単位水量			圧縮強度 $\sigma_7$			圧縮強度 $\sigma_{28}$		圧縮強度3		圧縮強度4		略 図
規格値	-2.5~+2.5			-1.5~+1.5			145~175			21.0~			21.0~						
社内規格値																			
測定又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
1/8 NO.2+10	8.0	8.2	+0.2	4.5	4.4	-0.1	180	180	+0	21.0	18.0	-3.0	21.0	25.2	+4.2				
1/13 NO.2+15	8.0	8.5	+0.5	4.5	4.6	+0.1	180	155	-25	21.0	15.0	-6.0	21.0	24.9	+3.9				
1/18 NO.3	8.0	8.3	+0.3	4.5	4.5	0.0	180	182	+2	21.0	15.0	-6.0	21.0	25.2	+4.2				

変更後

測定結果一覧表																			
工事名 平成○○年度デキサポート サンプルデータ																			
工 種																			
種 別 21-40 電力式隔壁工																			
責任者/代理人																			
印																			
略 図																			
測定項目																			
スランプ				空気量				単位水量				圧縮強度 の7				圧縮強度 の28			
-2.5~+2.5				-1.5~+1.5				145~175				21.0~				21.0~			
規格値																			
社内規格値																			
測定又は区別																			
設計値		実測値		差		設計値		実測値		差		設計値		実測値		差			
1/8 NO.2+10		8.0	8.2	+0.2	4.5	4.4	-0.1	180	180	+0	21.0	18.0	-3.0	21.0	25.2	+4.2			
1/13 NO.2+15		8.0	8.5	+0.5	4.5	4.6	+0.1	180	155	-25	21.0	15.0	-6.2	21.0	24.9	+3.9			
1/18 NO.3		8.0	8.3	+0.3	4.5	4.5	0.0	180	182	+2	21.0	15.0	-6.0	21.0	25.2	+4.2			

以上で「第4章 帳票の編集」は終了です。  
引き続き「第5章 保存」にお進みください。



## 第5章

# 保存

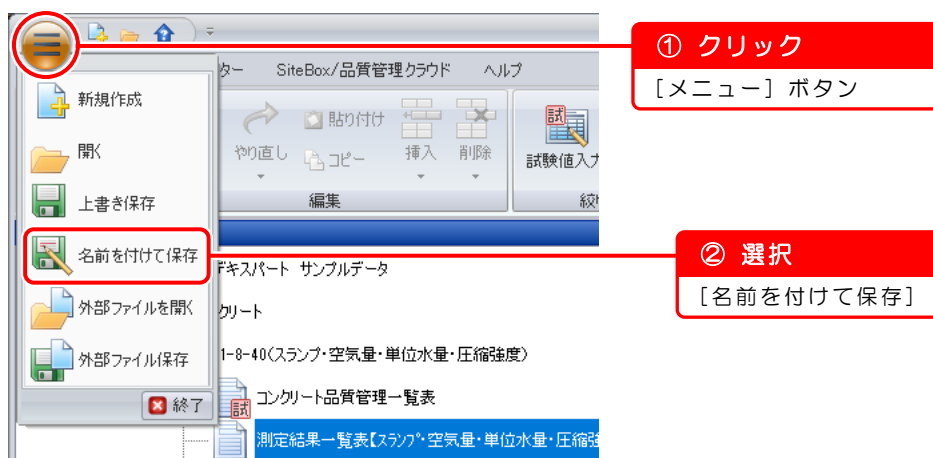
データを保存します。

# 保存

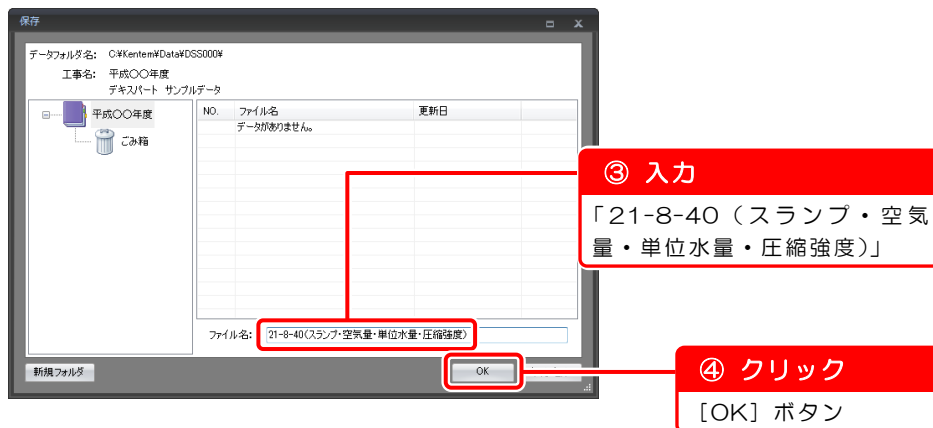
作成したデータを保存します。

## 帳票ブックを保存します

1) 名前を付けて保存します。



2) ファイル名を入力します。



### こんなときは

⇒「作成した帳票ブックをユーザーテンプレートとして保存する場合」  
(42 ページ)

以上で「第5章 保存」は終了です。

引き続き「第6章 出力」にお進みください。

## 第6章

# 出力

データを出力します。

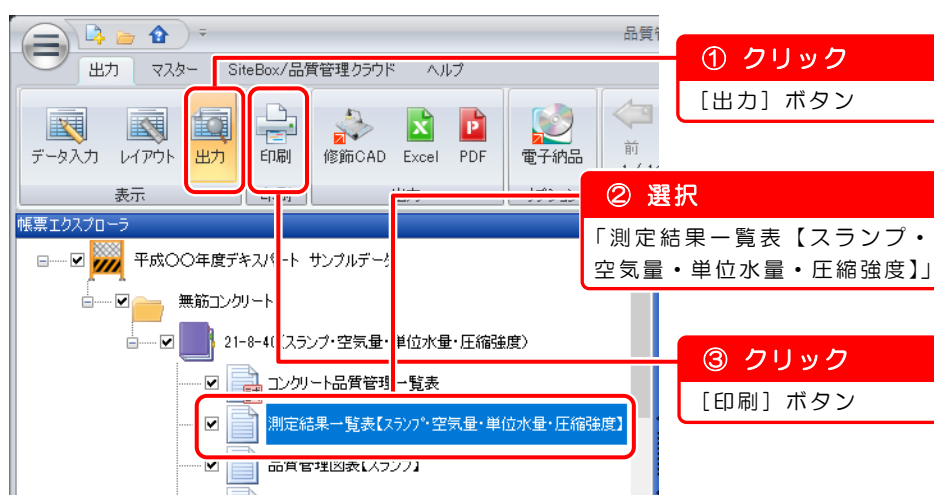
# 出力

印刷する帳票を選択し、印刷します。

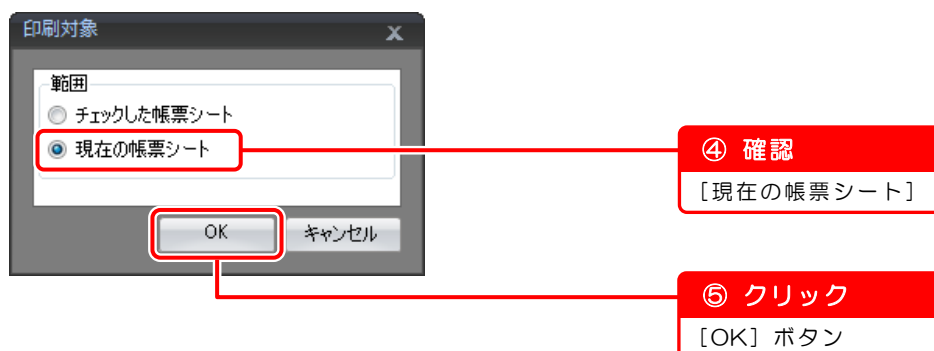
## 印刷する帳票を選択し、印刷します

1) [出力] ボタンをクリックし、印刷する帳票を選択します。

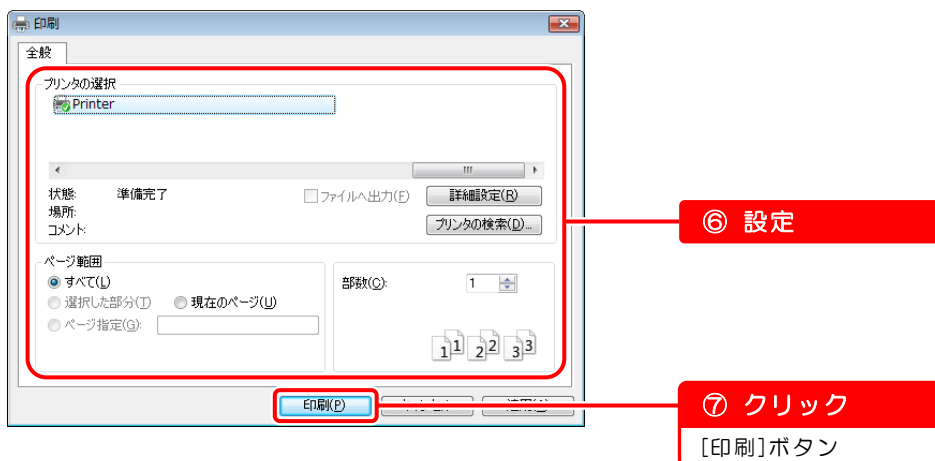
ここでは「測定結果一覧表【スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度】」を印刷します。



2) 印刷対象画面が表示されるので、[現在の帳票シート] が選択されている事を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

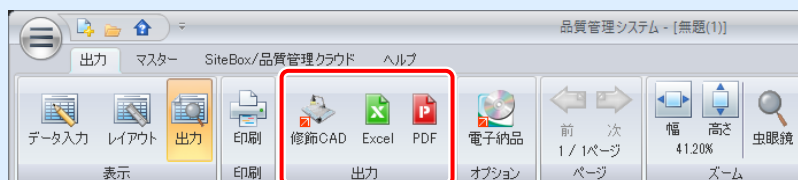


3) 印刷画面が表示されるので、プリンタ・ページ範囲・部数などを設定し、[印刷] ボタンをクリックします。



#### 出力可能なファイルについて

以下のファイル形式でも出力できます。



・・・『修飾 CAD』へ転送します。



・・・「Excel」形式で保存します。



・・・「PDF」形式で保存します。

※ケンテム PDF、Adobe Acrobat (Standard または、Professional) がインストールされている場合のみ利用できます。



#### こんなときは

⇒ 「『電子納品支援システム』にデータを転送する場合」(44 ページ)

以上で「品質管理システム 基本操作マニュアル」は終了です。  
その他の機能については「ヘルプ」をご覧ください。

## 第7章

# 補足集

基本操作マニュアルの流れの中での「こんなときは」をまとめました。

- 
- 写真情報データベースに登録した写真を  
閲覧する場合 . . . . . 40
  - 作成した帳票ブックをユーザーテンプレ  
ートとして保存する場合 . . . . . 42
  - 『電子納品支援システム』にデータを転  
送する場合 . . . . . 44
  - 単位水量をエアメータ法（無注水法/注水  
法）の帳票を利用して算出する場合 . . . 46



# こんなときは

困った時の操作や説明のヒントをまとめました。

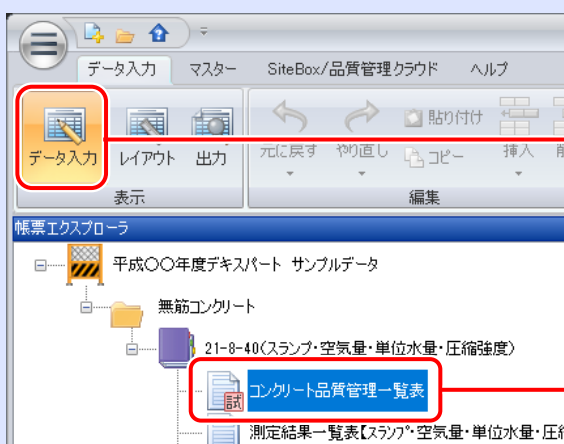
## 💡 こんなときは

### ■写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合

(該当箇所 ⇒ 20 ページ)

弊社ソフトウェア『写管屋』の写真情報データベースに写真が登録されている場合に利用できる機能です。

1) [データ入力] ボタンをクリックし、帳票シートを選択します。



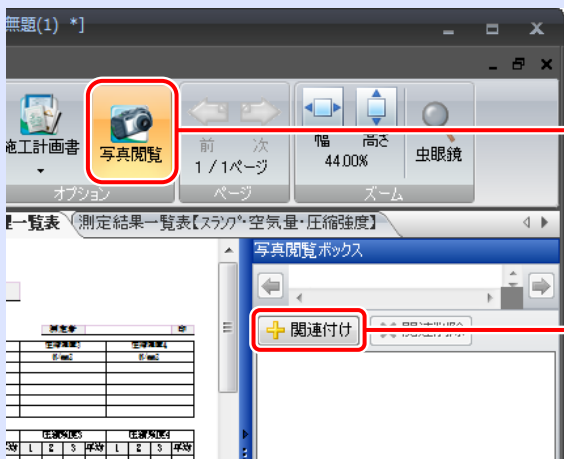
① クリック

[データ入力] ボタン

② 選択

帳票シート

2) [写真閲覧] ボタンをクリックすると、画面右に写真閲覧ボックスが表示されるので、[関連付け] ボタンをクリックします。



③ クリック

[写真閲覧] ボタン

④ クリック

[関連付け] ボタン

3) 写真関連付け画面が表示されます。

写真を選択し、[関連付け] ボタンをクリックします。



4) 写真閲覧ボックスに選択した写真が取り込まれます。

写真閲覧ボックスとプロパティボックスの境目にカーソルを合わせると、カーソルの形が変わります。

クリックすると、選択した写真が拡大表示されます。

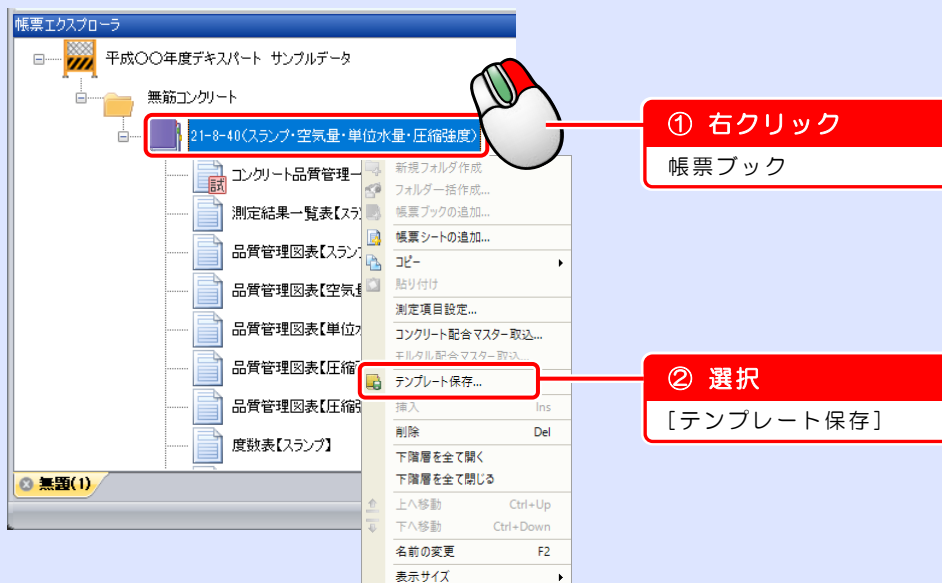


以上で「写真情報データベースに登録した写真を閲覧する場合」は終了です。  
20 ページへお戻りください。

## ■作成した帳票ブックをユーザーテンプレートとして保存する場合

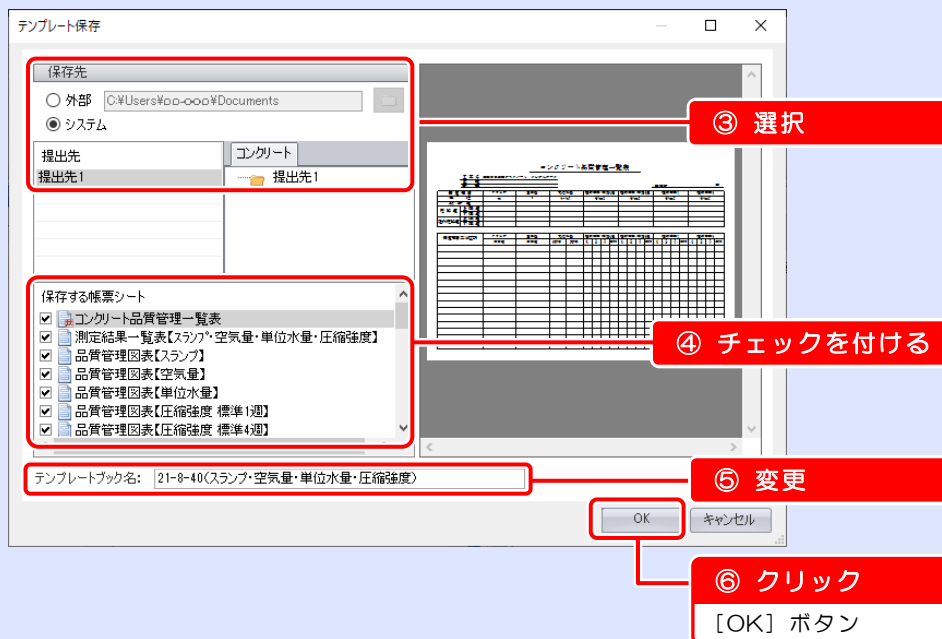
(該当箇所 ⇒ 35 ページ)

- 1) 帳票ブックの上で右クリックし、表示されるメニューから「テンプレート保存」を選択します。



- 2) テンプレート保存画面が表示されます。

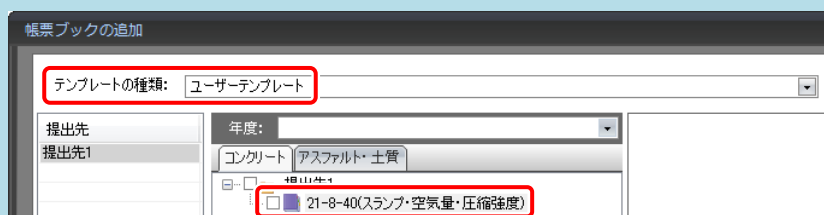
保存先・保存する帳票シートを選択し、テンプレートブック名を変更します。



## 保存したテンプレートを使用する場合

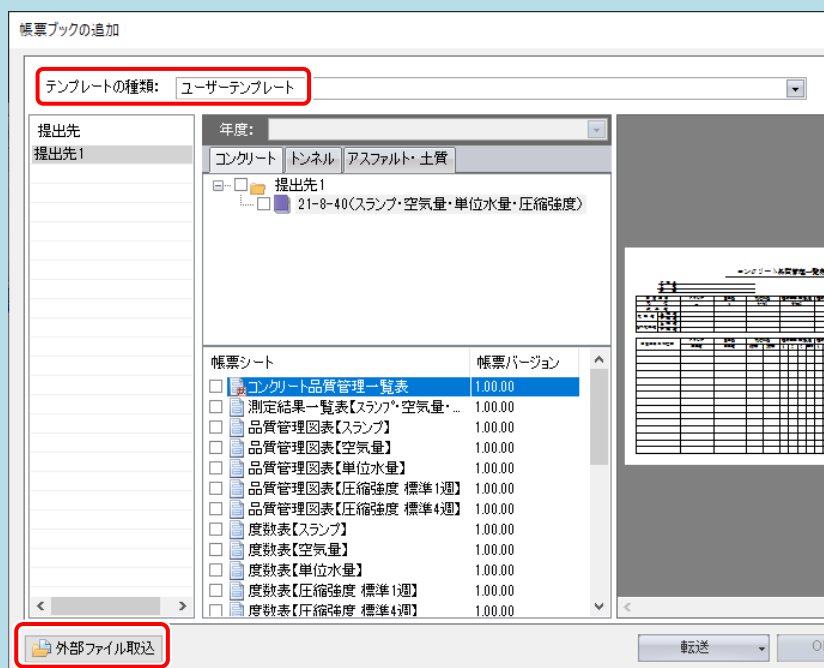
【保存先を「システム」にした場合】

テンプレートの種類から「ユーザーテンプレート」を選択すると表示されます。



【保存先を「外部」にした場合】

テンプレートの種類から「ユーザーテンプレート」を選択します。  
画面左下の[外部ファイル取込]ボタンをクリックし、ファイルを取り込みます。



以上で「作成した帳票ブックをユーザーテンプレートとして保存する場合」は終了です。

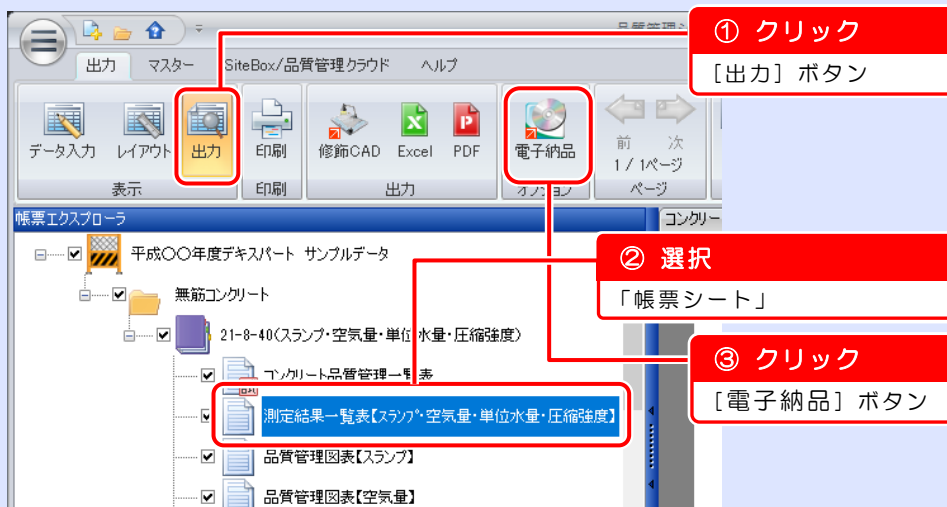
35 ページへお戻りください。

## ■『電子納品支援システム』にデータを転送する場合

(該当箇所 ⇒ 38 ページ)

弊社ソフトウェア『電子納品支援システム〔土木版〕』に、バインダが作成されている場合に利用できる機能です。

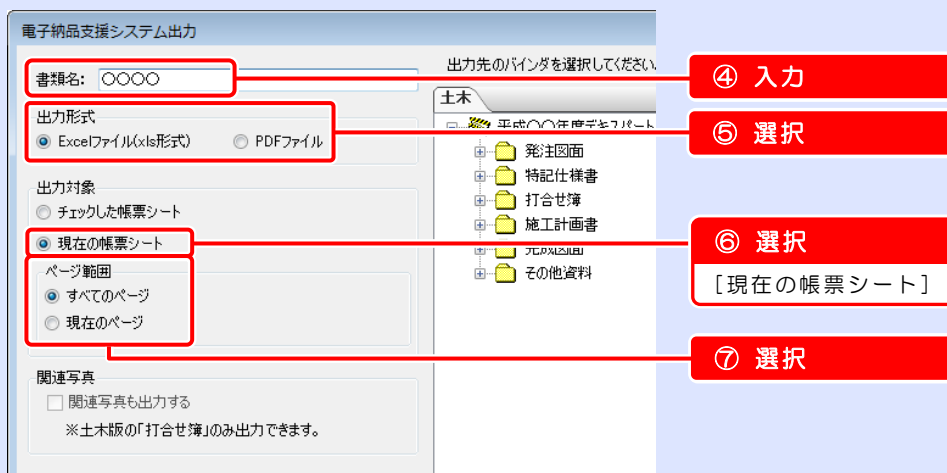
1) [出力] ボタンをクリックし、転送する帳票シートを選択します。



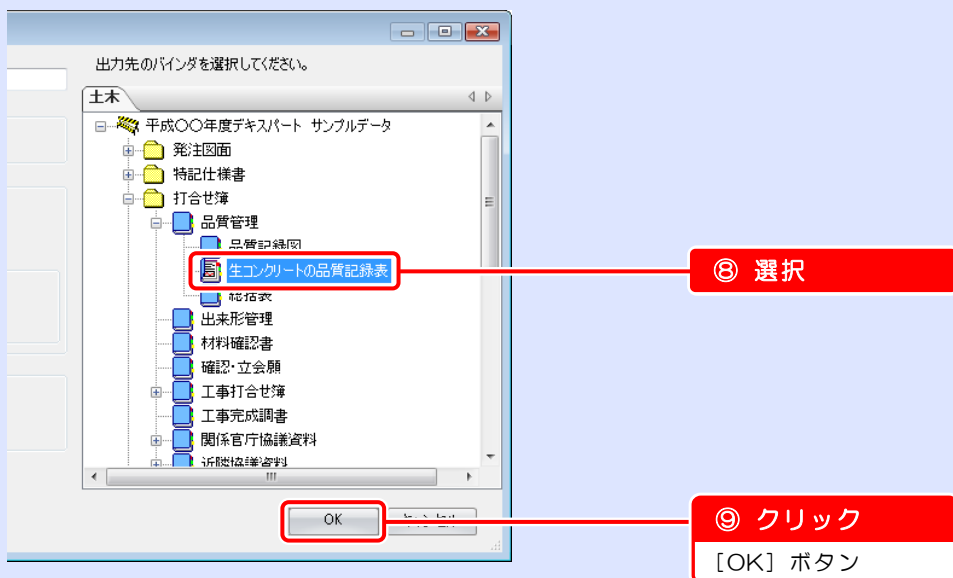
2) 電子納品支援システム出力画面が表示されます。

書類名を入力し、出力するファイル形式などを設定します。

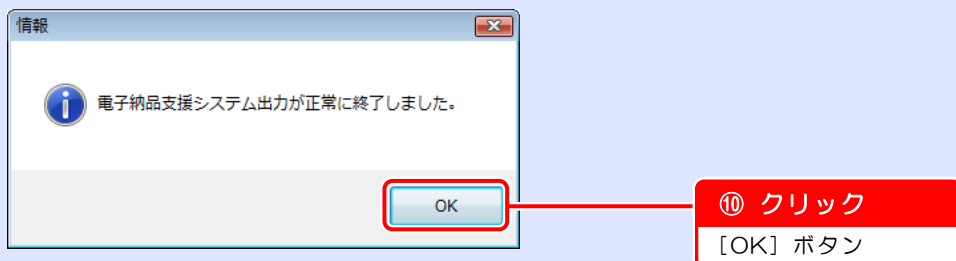
※出力形式を PDF ファイルにするには、Adobe Acrobat(Standard または、Professional) がインストールされている必要があります。



3) 出力先のバイндаを選択します。



4) 情報メッセージが表示されます。



以上で『電子納品支援システム』にデータを転送する場合』は終了です。  
38 ページへお戻りください。

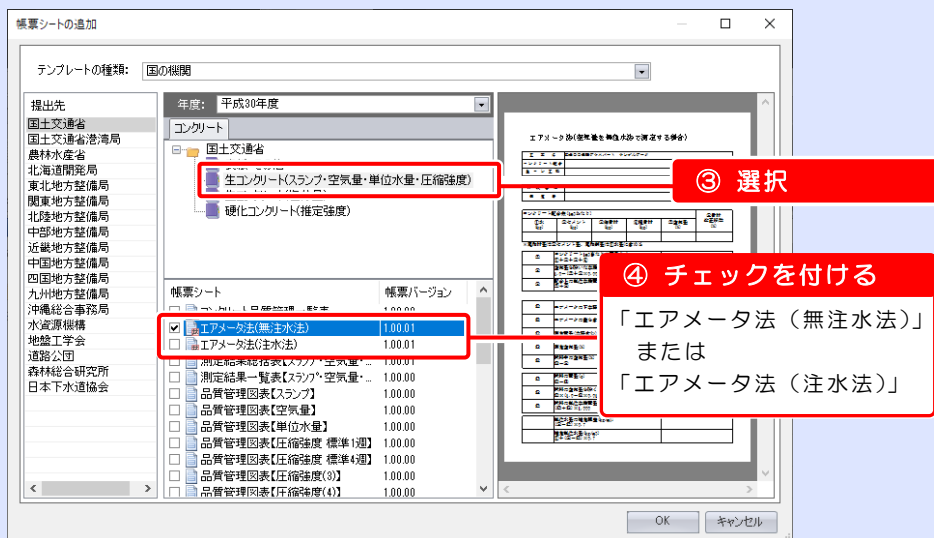
■単位水量をエアメータ法(無注水法/注水法)の帳票を利用して算出する場合  
(該当箇所 ⇒ 8 ページ)

1) 帳票ブックの上で右クリックし、表示されるメニューから「帳票シートの追加」を選択します。



2) 帳票シートの追加画面が表示されます。

「生コンクリート(スランプ・空気量・単位水量・圧縮強度)」のテンプレートブックから「エアメータ法(無注水法)」または、「エアメータ法(注水法)」にチェックを入れます。



3) 取り込まれたシートに配合量を入力すると、推定単位水量が計算されます。

エアメータ法(空気量を無注水法で測定する場合)

工 事 名	平成〇〇年度デキスパート サンプルデータ				
コンクリート配合	21-8-25 (高研)				
生 コ ン 工 場	21-8-25 (高研)				
測 定 日	平成22年 9月19日				
打 設 箇 所	No.1~No.145 船体				
測 定 者	建設 太郎				

①水 (kg)	②セメント (kg)	③細骨材 (kg)	④粗骨材 (kg)	⑤空気量 (%)	⑥骨材修正係数 (%)
173	327	826	983	4.5	0.0

\* 混和材量は②セメント量、混和剤量は①水量に含める

[コンクリート1m3当たりの質量(kg)]					
単位水量の推定誤差(kg/m3) ⑤ - ⑥) × 6.7					
推定単位水量(kg/m3) ⑤ + (⑥ - ⑤) × 6.7					

⑤ 入力

## ⚠ 注意

エアメータ法の帳票における「①水」欄、「②セメント」欄の入力について  
 エアメータ法による単位水量の算出につきましては「国立研究開発法人 土木研究所」の計算式を採用しています。  
 配合計画書をご確認のうえ、「①水」欄には混和剤量を含めた配合量、「②セメント」欄には混和材量を含めた配合量が表示されるように、プロパティボックスにて、入力してください。

コンクリート配合表(1m3あたり)	
①水 (kg)	②セメント (kg)
173	327

プロパティボックス

水使用量(示方配合)	
値	170
桁数	0
桁の丸め方	四捨五入
混和剤使用量(示方配合)	
値	2620
桁数	3
桁の丸め方	四捨五入



## ① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDFマニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

### 「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにある  
ショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

DEKISPART  
デキスパート®

## 品質管理システム [コンクリート] 基本操作マニュアル

2024 年 2 月 20 日 (170-1)

発行所 株式会社 建設システム  
〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1  
TEL 0570-200-787